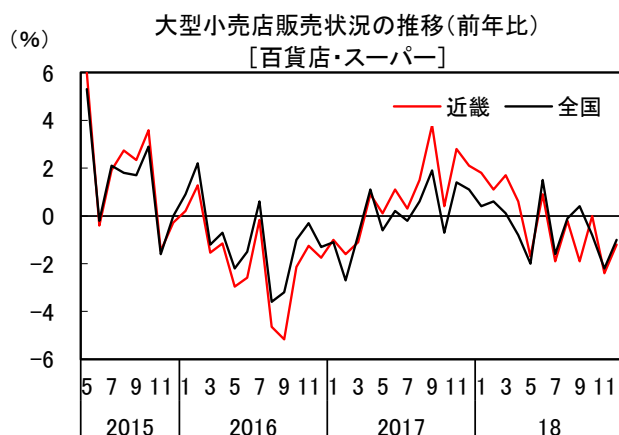
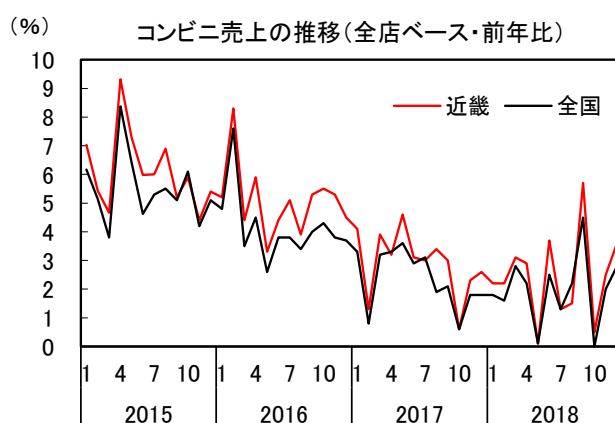


関西の景気トピックス【消費関連（18年12月）】

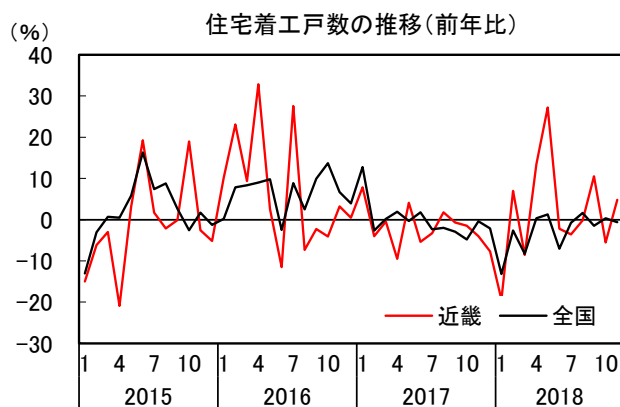
- 18年12月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比マイナス1.2%と6か月連続の減少となっている。訪日客の免税売上は回復傾向にあるものの、暖冬の影響で冬物商材の販売が伸びなかったことなどが要因とみられる。（業態別には、百貨店がプラス1.1%、スーパーがマイナス3.2%）。
- コンビニ売上（経済産業省）の12月は全店ベースで前年比プラス3.6%と、たばこ増税による影響も一巡し、堅調な推移となっている。
- 住宅着工戸数の（国土交通省）11月は、前年比プラス4.8%と2か月ぶりの増加となった。持家、貸家、分譲のすべてで前年を上回り、特に分譲は前年比での増加傾向が続いている。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向については、大阪（10月）は直近で伸び率の鈍化傾向がみられることから、今後の推移には注意が必要とみられる。



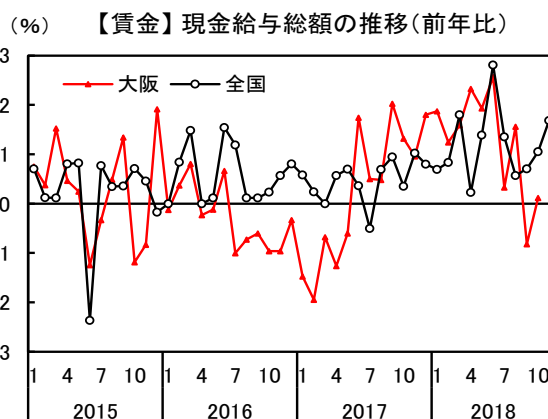
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」